

□ 編集方針

● 報告内容について

編集方針 サステナビリティレポート2025(詳細版)は、すべてのステークホルダーの皆さまにサステナビリティへの考え方や取り組みをご理解いただくことを目的に、2024年度の活動を中心に掲載しています。また、下記のガイドラインを参考に編集しています。

参考ガイドライン GRIスタンダード、SASB
対照表はP65-67に掲載しています。

対象期間 2024年度(2024年4月～2025年3月)
一部のグループ会社については、決算期に合わせて2024年1月～12月を対象としています。また、一部の報告内容には過去や直近の情報を含んでいます。

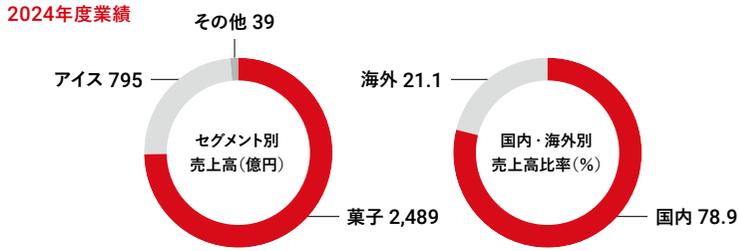
対象範囲 原則として、当社およびその連結グループ会社を対象としています。2021年度中に連結グループ会社となったDari K株式会社および株式会社銀座コージーコーナーについては、2022年度実績より対象にしていますが、目標設定に対する基準年がある場合には、遡って過去情報を見直し、対象としています。また、情報を十分に把握できていない場合は、報告の都度、対象範囲を明示しています。

報告年月 2025年9月

□ 会社情報

● 会社概要

商号 株式会社ロッテ(LOTTE CO., LTD.)
本社所在地 東京都新宿区西新宿3-20-1
創業 1948年6月
資本金 2億1,700万円
決算期 3月31日
従業員数 2,299名
7,061名(海外拠点・グループ会社含む)
(2025年3月31日現在、海外およびDari K株式会社は2024年12月31日現在)



グループ会社

親会社

株式会社ロッテホールディングス

国内

株式会社メリーチョコレートカンパニー
Dari K株式会社
株式会社銀座コージーコーナー

海外

THAI LOTTE CO., LTD. (タイ)
PT. LOTTE INDONESIA (インドネシア)
LOTTE VIETNAM CO., LTD. (ベトナム)
台湾樂天製菓 (台湾)
LOTTE Wedel sp. z o.o. (ポーランド)

未来財務情報開示のご案内

WEBサイトにも各種情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ロッテHP サステナビリティサイト

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/>

サステナビリティレポート2025

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>



サステナビリティレポート 2025(詳細版)

Contents

Introduction

- 01 編集方針／会社情報／目次
- 02 私たちのロッテ ミライチャレンジ2048
- 03 トップメッセージ
- 05 私たちが考える「しあわせな未来」
- 06 しあわせな未来への道筋

サステナビリティマネジメント

- 08 サステナビリティ経営の推進
- 09 外部イニシアチブとの連携
- 10 有識者ダイアログ

活動報告

- 17 環境 Environment
- 31 環境データ
- 33 社会 Society
- 55 社会データ
- 59 企業統治 Governance

GRI・SASB対照表

- 65 GRI対照表
- 67 SASB対照表

私たちの ロツテミライ チャレンジ 2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと

株式会社ロツテは
2048年に創業100周年を迎えます。

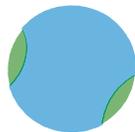
現在も世界が激変する中、
今後訪れる不確実な未来で私たちはどうあるべきか、
どうなっていないと生き残れないか、
そして、どうなりたいかを真剣に議論しました。

議論した結果から
創業100周年の私たちのありたい姿を、
パーパスを起点とした
3つのサステナビリティビジョンとして整理しました。



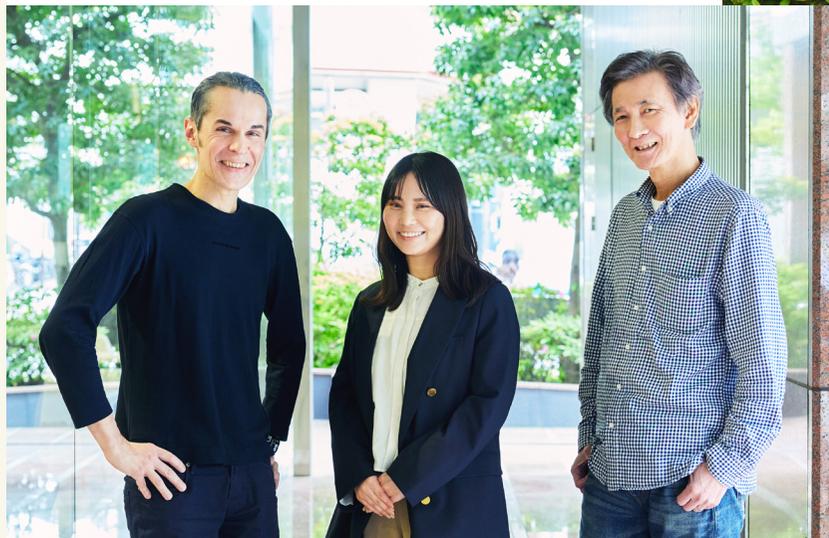
お客様の選択がしあわせな未来に つながるようにブランドを進化させる

お客様が私たちの製品やサービスを選択する、その積み重ね
がお客様のしあわせな未来につながっていく、そんな未来を
実現するために、新たな価値を探索しながら、バリューチェーン
に関わるすべてを持続可能なものに進化させていきます。



人と人をつなぎ持続可能な 地球を実現する

私たちのビジネスは、私たちだけで完結するものではなく、
バリューチェーンを構成する多くのステークホルダーと連携して
います。私たちが主体的にステークホルダーをつなぎ、巻き
込み、互いに学びながら持続可能なビジネスへの転換を一緒
に目指していきます。



多様な人財が集い独創的な アイデアを次々と生み出す会社になる

2048年の未来でも、イノベーションによる成長を続けるために、
多様な人財が集い、思う存分力を発揮してもらえる会社でなくて
はいけません。ロツテで働きたい、ロツテで働いてよかったと思っ
てもらえるよう、私たちは進化し続けます。

ステークホルダーの皆さまとともに 持続可能な成長と企業価値の向上を 実現していきます

代表取締役社長執行役員

中島 英樹



©L/KMP



節目の年にカカオ生産地を訪問

2024年は当社のチョコレート事業が60周年を迎えた節目の年であり、同年10月に当社の主要なカカオ豆調達地であるガーナのカカオ農園と農村部の学校を訪問してきました。十分に環境が整っているとは言えない学舎で目を輝かせながら勉学に励む子どもたちの様子を目の当たりにして、改めてカカオの生産地が抱えている課題を改善せねばと、私自身強く感じました。ここ数年は、円安の進行や西アフリカでのカカオ豆不作に伴うカカオ相場の歴史的な高騰もあり、事業そのもののサステナビリティ(持続可能性)について、社内外で対話する機会が増えました。当社はガーナを中心に生産地やサプライヤーと良好で強

固な関係を築き、カカオ豆の持続可能な調達に長年取り組んできました。児童労働の撤廃や森林減少の防止に加え、カカオの生産性を高めるための農業指導も行っています。指導を受けている農家はそうでない農家に比べ、不作の影響が小さかったとも聞いています。これらの活動が功を奏し、相場高騰の影響は受けつつも、生産に必要なカカオ豆を確保し続けることができます。不確実性が高まる昨今においては、サステナビリティ活動が、有事へのレジリエンスという側面からも重要だと再認識しました。

カカオの生産性が高まり農家の方々の生計が向上していくことは、カカオ農家という仕事の魅力を高め、将来のカカオ生産者

を創出していくことにつながります。当社のチョコレート事業のサステナビリティを考える上で、これらの活動はとても重要な意味を持つと言えます。

しかしながら、一社だけでできることの限界も感じています。そこで、2024年には他のカカオ豆関連企業と連携して、バイオ炭の評価試験(P37)をスタートさせました。カカオ生産地で廃棄されているカカオの外殻を炭化させ、農園に散布することで、カカオの生産性向上や脱炭素効果が期待されます。その有効性や最適な散布方法などを現地で評価していきます。今後も、ステークホルダーと連携して社会課題解決へのインパクトを拡大していきたいと思っています。

トップメッセージ

経営戦略と連動した人財戦略を推進

当社は持続可能な成長を実現するための経営戦略として、①国内既存事業の収益性向上②海外事業の成長加速③新規事業の探索・育成の3つを推進しています。国内の菓子・アイスを中心とする既存事業では、デフレ経済からの緩やかな脱却の兆しを捉えながら、ブランドを軸に量から価値への転換と生産性の向上を図り、収益性を高めていきます。そして、国内既存事業の収益を基盤に、海外事業へ積極的に投資し、グループ全体の成長をけん引していきます。また、新規事業の探索・育成も積極的に行い、そこから得られるノウハウや既存事業とのシナジーなどの「成長のタネ」を積極的に生み出していきたいと考えています。



これらの経営戦略を実行していくためには人財が最も重要です。そのため、経営戦略と連動した人財戦略(P46)を推進し、経営戦略の実行に必要な人財ポートフォリオを実現していきます。この人財ポートフォリオに沿って、優秀な人財の獲得や育成への投資をさらに拡大します。また、当社で思う存分活躍できるように、多様な働き方の実現や多様性を尊重する風土改革など、従業員エンゲージメントの向上にも引き続き注力していきます。ロッテ ミライチャレンジ2048では、エンゲージメントスコアの向上を目標の一つに掲げています。この結果は、従業員から私たち役員に対しての「通知表」として認識しています。どれも

け良い職場環境か、いきいきと働いているか、そして経営を信頼できているかという、役員に対する総合評価です。私たちは従業員の声から目を背けることなく、真摯に受け止め、改善していくことを約束します。ロッテで働きたい、働いてよかったと思ってもらえるよう、私たちはこれからも進化し続けます。

「しあわせな未来」を実現するために

昨今の変化が激しく予測が難しい事業環境下においては、パーパス(存在意義)を明確にすることがますます重要であると感じ、当社グループで働く従業員とともに「独創的なアイデアとこころ動かす体験で人と人をつなぎ、しあわせな未来をつくる。」というパーパスを2023年に新たに策定しました。「しあわせな未来」という言葉には、持続可能な地球と社会、そしてそこで暮

らす人々の豊かなくらしに貢献するという私たちの決意が表れています。

当社グループの事業は、原材料をはじめとして多くの自然の恵みに支えられています。さらに、それらを生産する農家の方々やお取引先様、お客様など多くのステークホルダーに支えられています。環境や人権に関わる課題の解決に取り組み、パーパスで掲げる「しあわせな未来」を実現し次の世代に引き継ぐことは、持続的な成長を遂げるための事業活動そのものです。

2025年度以降も、私たちは多くの困難に直面するかもしれません。しかし、変化を恐れず、常に「しあわせな未来」をどう実現するかを問い続け、ステークホルダーの皆さまとともに持続可能な成長と企業価値の向上に挑戦していきます。引き続き、皆さまのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



私たちが考える「しあわせな未来」

私たちが考えるしあわせな未来は、人々が心身ともに健康で、
地球環境や社会と調和した持続可能な未来です。サステナビリティビジョンを実現し、
しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。
私たちのロッテ ミライチャレンジ2048が動き出しています。



しあわせな未来への道筋

6つのマテリアリティと目標(ロッセ ミライチャレンジ2048)は、サステナビリティビジョンの実現を通じて、パーパスで掲げるしあわせな未来につながっています。



LOTTE Purpose

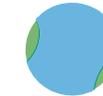


- ✦ 独創的なアイデアと
- 〰️ ころ動かす体験で
- 〰️ 人と人をつなぎ、
- ♥️ しあわせな未来をつくる。

サステナビリティビジョン



お客様の選択がしあわせな未来につながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な地球を実現する



多様な人材が集い独創的なアイデアを次々と生み出す会社になる

6つのマテリアリティ



心身の健康

これまで培ってきた「噛むこと」などの食と健康に関する知見やおいしさの技術を基盤に、新たな価値への挑戦を続け、人々のウェルビーイングに貢献します。



持続可能な調達

ステークホルダーとともにサプライチェーンにおける環境や人権に関する課題の解決に努め、持続可能なサプライチェーンを実現します。



サーキュラーエコノミー

原材料の調達から消費、廃棄までのバリューチェーン全体において環境に与える負の影響を最小化させるとともに、サーキュラーエコノミーの実現を目指します。



脱炭素

ステークホルダーと連携し、自社およびサプライチェーンから排出される温室効果ガスを実質ゼロにし、脱炭素を実現します。



社会とつながる

様々なステークホルダーとの共創や社外との交流を通じて、社会に貢献しながら従業員および組織の成長を図り、社会課題の解決を加速させます。



人財

企業競争力の源泉であるイノベーションを継続的に創出するために、DEIの推進や働きやすさと働きがいの向上に努め、多様な人材が働きたいと思える職場を実現します。

ロツテミライ チャレンジ2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと

サステナビリティビジョンを実現し、しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。この目標は、進捗や社会の変化に合わせて定期的に見直し、抽象的な目標を具体的にアップデートしていきます。



100周年目標

2048年度

90周年目標

2038年度

80周年目標

2028年度

現在の進捗

2024年度

*1 ロツテ サステナブルカカオ(LSC):生産地のトレーサビリティが確立されたカカオ豆のこと。LSCの調達先に対して、生産地が抱える課題への支援を展開している。
 *2 Scope: GHGプロトコルに基づく排出量の算定範囲
 *3 アンケート対象者2,655名、有効回答数1,819件、食育活動等参加者264名、食育活動、食育以外のセミナー、地域・社会貢献活動を行った人数
 *4 エンゲージメント・レーティング:企業と従業員のエンゲージメント(相互理解・相思相愛度合い)を表す指標評価段階はAAA~DDまで11段階
 *5 組織変更に伴い、2025年3月末時点の実績より親会社である株式会社ロツテホールディングスを集計対象に含む



お客様の選択がしあわせな未来につながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な地球を実現する



多様な人財が集い独創的なアイデアを次々と生み出す会社になる

心身の健康	持続可能な調達	サーキュラーエコノミー	脱炭素	社会とつながる	人財
<ul style="list-style-type: none"> ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> すべての原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する 	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装に使用する石油由来使い捨てプラスチックをゼロにする ステークホルダーと連携して食品ロスおよび食品廃棄物(FLW)を最小化する 	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルを実現する(Scope*2 1、2、3) 	<ul style="list-style-type: none"> 社外との共創を個人および組織の成長につなげ、社会課題の解決に貢献する 	<ul style="list-style-type: none"> 多様なグローバル人財が集い、活躍する職場を実現する
<ul style="list-style-type: none"> 嘔むことによる健康増進が当たり前な社会を実現する 製品・サービスをウェルビーイングに貢献できるようアップデートさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 主要な原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する 	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装に使用するプラスチックを最小化、または、リサイクル可能な設計に変更する 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー起源CO₂排出量削減率 62%以上 (Scope1、2・2019年度比) サプライチェーンGHG排出量削減率 50%以上 (Scope3・主なカテゴリー) 	<ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン全体の脱炭素やサーキュラーエコノミーの実現に一人ひとりが貢献する 経験やスキルを社会に還元し、社外での多様な経験を個人および組織の成長につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> 男女間賃金格差を是正する 働きたい会社として社会に認知される
<ul style="list-style-type: none"> 嘔むことによる健康増進の普及に努め、咀嚼チェックガムによる咀嚼能力評価回数を年100万回以上に増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 調達するすべてのカカオ豆の生産地把握と地域が抱える課題への支援(ガーナ産は2025年度までに) 	<ul style="list-style-type: none"> 主要な製品で容器包装をアップデートする FLW削減率 50%以上(原単位、2019年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー起源CO₂排出量削減率 23%以上 (Scope1、2・2019年度比) 削減可能な一次データを用いたサプライチェーンGHG排出量算定を実現する(Scope3) 	<ul style="list-style-type: none"> 役員および社員の環境研修受講率 100% 社員の食育活動等参加率 20%以上(株式会社ロツテ、期間中1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内女性管理職比率 10%以上 エンゲージメント・レーティング^{*4} A以上(株式会社ロツテ)
<ul style="list-style-type: none"> 咀嚼能力評価回数 55万回 	<ul style="list-style-type: none"> ロツテ サステナブルカカオ(LSC)*1 調達率 51% 	<ul style="list-style-type: none"> 部門横断のプロジェクトチームを組成し、容器包装をアップデートする製品を検討中 FLW削減率 31%(原単位、2019年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー起源CO₂排出量削減率 18%(Scope1、2・2019年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 役員向け環境研修実施 社員の食育活動等参加率 14.5%(株式会社ロツテ正社員・嘱託社員へのアンケート調査*) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内女性管理職比率 8.2%^{*5} エンゲージメント・レーティング B(株式会社ロツテ)

